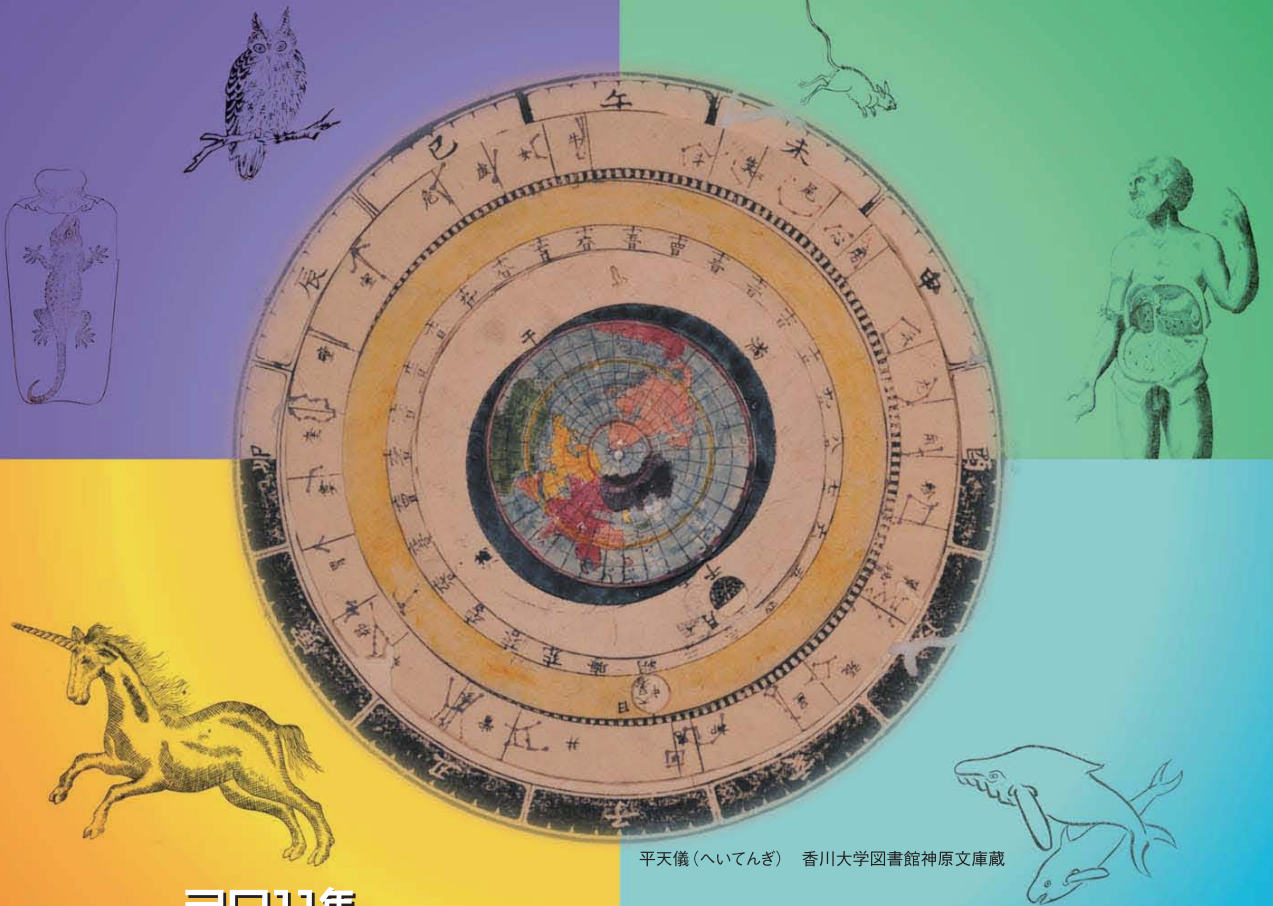


# 知の体系

—江戸時代にやってきた自然科学—



平天儀(へいてんぎ) 香川大学図書館神原文庫蔵

2011年

9月17日(土) → 10月30日(日)

高松市歴史資料館 企画展示室(中央図書館4階)

〒760-0014 高松市昭和町一丁目2-20 tel.087-861-4520

休館日: 月曜日[但し、9/19(月・祝)・10/10(月・祝)は開館、翌9/20(火)・10/11(火)は休館]

開館時間: 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

入場料: 一般200円 大学生150円

\*20人様以上の団体は2割引 \*高校生以下、長寿手帳・身体障害者手帳等の所持者は無料

主催: 高松市歴史資料館・香川大学図書館

後援: 朝日新聞高松総局・RSK山陽放送・RNC西日本放送・NHK高松放送局  
OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・産経新聞高松支局・山陽新聞社  
四国新聞社・TSCテレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局



高松市歴史資料館 第58回企画展  
香川大学図書館 神原文庫資料展

# 知の体系

—江戸時代にやってきた自然科学—

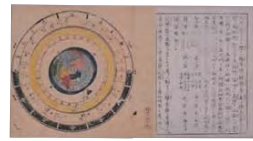
長い間続いた戦国の世が終わり江戸時代に入ると、社会は安定し、経済・産業など様々な分野が発展しました。学問も例外ではありません。鎖国により西洋からの情報は制限されましたが、人々の知識欲、学問への興味はおさえられませんでした。その結果、西洋の影響をほとんど受けずに日本固有の数学である和算が発達しました。和算はそろばんのように実用的なものだけでなく、ねずみ算のような数学遊戯もあり、庶民にまで親しまれました。享保5年(1720)には禁書令が緩和されたことで洋書が輸入されるようになり、『解体新書』の出版を皮切りに西洋書が次々と翻訳されました。西洋から入ってきた学問は、医学・化学・物理学など自然現象を取り扱う自然科学を中心としたもので、当時の知識人たちは西洋学問をどんどん吸収していき、日本近代化の下地を作りました。

香川大学図書館にある神原文庫には、江戸時代の自然科学をはじめ様々な分野の書籍が多数収蔵されています。香川大学初代学長・神原甚造氏(1884~1954)が終世にわたって収集した蔵書コレクションで、その数約12,000点、16,560冊(和漢書15,890冊・洋書670冊)に及びます。

今回香川大学図書館の全面的な御協力のもと、本展では、神原文庫の蔵書の中から江戸時代に西洋から入ってきた自然科学を中心とした書籍と当館所蔵資料等をあわせて展示します。また地域の歴史に関連付けて、讃岐の発展に寄与した平賀源内、久米通賢、藤川三溪に關する歴史資料も紹介します。近世から近代にかけて、当時の先進の学問を貪欲に吸収した江戸の知識人たちの足跡をたどります。



塵劫記(じんごうき) 巻上  
香川大学図書館神原文庫蔵



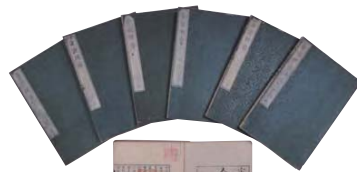
平天儀(へいてんぎ)  
香川大学図書館神原文庫蔵



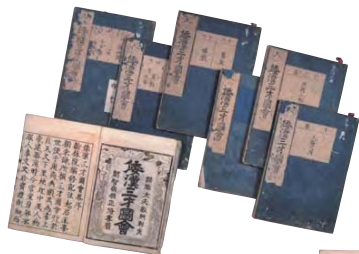
蘭学指栞(らんがくしるし)  
香川大学図書館神原文庫蔵



解体新書 小石元俊先生校正書入  
香川大学図書館神原文庫蔵



舎室開宗(せいまいしゅう)  
香川大学図書館神原文庫蔵



和漢三才図会 香川大学図書館神原文庫蔵



物類品隲(ぶつるいひんしつ)  
当館蔵



水産図解 当館蔵



平線儀 当館蔵

## 関連イベント

講演会 (中央図書館3階 視聴覚ホール/無料)

「久米通賢の科学技術とその背景」

9月25日(日)午後1時30分~ / 定員200名

講師: 香川大学教育学部教授 松村雅文

「神原彩翹と与謝野晶子—讃岐明星派歌人の系譜」

10月8日(土)午後1時30分~ / 定員200名

講師: 英明高等学校教諭 田山泰三

ワークショップ (中央図書館3階 第1集会室/無料)

「江戸時代の算数にチャレンジ!」

10月23日(日)午後1時30分~ / 定員20名

対象: 小学校中・高学年及び中学生

講師: 香川大学教育学部附属高松中学校教諭 三好一生

ミュージアムトーク (企画展示室/観覧券必要)

会期中の日曜日・祝日の午前11時~

展示会担当者および歴史資料館サポーター

Takamatsu Historical Museum  
高松市歴史資料館  
〒760-0014 高松市昭和町一丁目2-20  
(中央図書館4階) Tel.087-861-4520  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/643.html>

